



南小だより 1月号



高松市立牟礼南小学校

761-0122 高松市牟礼町大町 1115-1

TEL: 087-845-9324

<http://www.edu-tens.net/syoHP/mureminamiHP/>

令和4年1月11日発行

今月の主な行事

- 11(火) 始業式
- 14(金)~16(日)
高松市教育文化祭展覧会
(高松市美術館)
- 18(火) 委員会活動
- 21(金) 教育相談日
- 25(火) クラブ活動
- 26(水) 入学周知会
- 28(金) 修学旅行

新年明けまして おめでとうございます

穏やかな天候のもと、新しい年を迎えることができました。今年は寅年。「寅」という文字には、「春の草木が生ずる」という意味もあるそうです。その意味のように、厳しい冬を越えて芽吹き、新しい成長を遂げていく、そのような一年となるように願ってやみません。早速、本日の始業式では、各クラスの代表者が今年や3学期の目標を堂々と発表してくれました。その気持ちを大切に受けとめ、子どもたちの成長を全力で支えていきたいと考えています。本年も、本校教育活動に対して、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、香川県の対処方針が1月3日から「感染警戒対策期」に引き上げられ、5段階のうち2番目のレベルとなりました。感染拡大が懸念されるところでありますが、基本的な感染症対策を継続することが何よりも重要となります。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

PTA からのお知らせ

・南っ子アドベンチャーについて

12月3日の午前中、各専門部が企画した「南っ子アドベンチャー」を行いました。子どもたちは、縦割りグループでそれぞれのゲームを楽しんでいました。運営を支えていただいた役員やボランティアの皆様、ありがとうございました。当日の様子は、学校のHPブログに掲載しています。

・大根の収穫、販売について

12月11日、南っ子農園で栽培していた大根を収穫しました。今年度は、翌日に牟礼中学校で行われた子ども会行事「逃走中」の会場で販売したところ、大変好評でした。

目標にチャレンジする子を「ほめる」「認める」とは？

新しい年を迎え、「今年こそは…」と目標を立て、それに向かってチャレンジしている子どもの姿を見たとき、どのように関わり、やる気を伸ばしていけばよいのでしょうか。先日、下のような文章に出会いました。参考にできれば幸いです。

大人が子どもを「ほめる」ときは、一般に大人の基準や水準で「ほめる」ことが多いように思われます。そして、大人の側の基準で一定の水準に達した、水準を超えたと評価するのが「ほめる」という行為と言えます。反対に言えば、水準に達しない場合には「頑張りなさい」と叱咤激励することはあっても、ほめることは稀でしょう。

それに対して、子どもが「認めてもらいたい」ときというのは、一般に子どもの基準や水準で「ほめられたい」のではないのでしょうか。子どもなりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを「認められたい」のです。だから、大人の考えた基準に達していなくても「ほめてほしい」と考えたり、大人の考えた水準に到達して「ほめられた」場合でさえ、大人の基準とは異なる子どもの基準でも「ほめてほしい」と考えたりするわけです。

◆「ほめて(自信をもたせて)育てる」という発想よりも、「認められて(自信をもって)育つ」という発想の方が、子どもの自信が持続しやすい。「国立教育政策研究所 生徒指導リーフ18」より抜粋



今月の生活目標

○進んで体をきたえよう

- ・寒さに負けず、外で元気に遊ぶ
- ・手洗い、換気をする
- ・なわとびの練習に、努力して取り組む

